

健康社会研究センター ニュースレター 第 31 号

2013. 9. 26 発行

◆ 目次 ◆

- 1 プレスリリース
- 2 主な研究成果発表
- 3 研究費採択のお知らせ
- 4 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1 プレスリリース

・健康が良い確率が社会参加で 2.5 倍高くなる

サロンを開設した地域介入研究で、参加の効果をより厳密な手法を用いて実証 (2013 年 7 月)

高齢者の社会参加は、生きがいや仲間づくりのみならず、閉じこもり防止や健康維持・増進にもつながり、生活の質が向上すると期待されている。しかし、社交性が高く健康状態の良い人ほど社会参加するなど参加者と非参加者の背景要因が異なるため、それらの影響を差し引いた参加そのものの効果の検証が課題となっていた。そこで、操作変数法と呼ばれる、より厳密な手法を用いて、参加者と非参加者の背景要因の違いも考慮した分析を行った結果、サロンに参加した高齢者の主観的健康感が良い確率は、非参加者よりも、2.5 倍高くなっていたことが実証された。

<詳細はこちら→<http://cws.umin.jp/press-releases/042.pdf>>

2 主な研究成果発表

<書籍>

- ① イチロー・カワチ, 等々力英美 編: ソーシャル・キャピタルと地域のカ 沖縄から考える健康と長寿. 日本評論社, 2013. 8. 25 発行 (239 頁)
- ② イチロー・カワチ, 高尾総司, S.V. スブラマニアン 編/近藤克則, 白井こころ, 近藤尚己 監訳: ソーシャル・キャピタルと健康政策 地域で活用するために. 日本評論社, 2013. 8. 25 発行 (455 頁)
- ③ Ichiro Kawachi, Soshi Takao, S.V. Subramanian: Global Perspectives on Social Capital and Health. Springer, 2013. 8

<論文等>

- ① Tomoya Hanibuchi, Katsunori Kondo, Tomoki Nakaya, Miyo Nakade, Toshiyuki Ojima, Hiroshi Hirai, Ichiro Kawachi: Neighborhood food environment and body mass index among Japanese older adults: results from the Aichi Gerontological Evaluation Study (AGES). International journal of Health Geographics, 2011 Jul 21;10:43. doi: 10.1186/1476-072X-10-43
- ② Yusuke Matsuyama, Jun Aida, Kenji Takeuchi, Georgios Tsakos, Richard Watt, Katsunori Kondo, Ken Osaka: Inequalities Of Dental Prosthesis Use Under Universal Health Care Insurance. Article first published online: 18 SEP 2013 | DOI: 10.1111/cdoe.12074
- ③ Daisuke Takagi, Katsunori Kondo and Ichiro Kawachi: Social participation and mental health: Moderating effects of gender, social role and rurality. BMC Public Health, 2013 Jul31(1):701
- ④ 近藤克則: 第 1 章 ソーシャル・キャピタルと高齢者の健康. イチロー・カワチ, 等々力英美 編: ソーシャル・キャピタルと地域のカ: 29-47, 日本評論社, 2013. 8
- ⑤ 稲葉陽二: 第 4 章 経済格差とソーシャル・キャピタル. イチロー・カワチ, 等々力英美 編: ソーシャル・

- キャピタルと地域の力 : 79-94, 日本評論社, 2013. 8
- ⑥ 等々力英美 : 戦後沖縄の体重転換と社会経済的要因——経済・身体活動・食事・栄養転換と関連して. イチロー・カワチ, 等々力英美 編 ソーシャル・キャピタルと地域の力 : 97-110, 日本評論社, 2013. 8
 - ⑦ 白井こころ : 沖縄共同体社会における高齢者とソーシャル・キャピタル. イチロー・カワチ, 等々力英美 編 : ソーシャル・キャピタルと地域の力 : 159-179, 日本評論社, 2013. 8
 - ⑧ イチロー・カワチ, 市田行信, G. タンポボロン, 藤原武男 : 第 4 章 ソーシャル・キャピタル研究における因果推論. イチロー・カワチ, 高尾総司, S. V. スブラマニアン編/近藤克則, 白井こころ, 近藤尚己監訳 : ソーシャル・キャピタルと健康政策 地域で活用するために : 111-149, 日本評論社, 2013. 8
 - ⑨ 埴淵知哉, 中谷友樹 : 第 5 章 地域コミュニティのソーシャル・キャピタルを規定する文脈的要因. イチロー・カワチ, 高尾総司, S. V. スブラマニアン編/近藤克則, 白井こころ, 近藤尚己監訳 : ソーシャル・キャピタルと健康政策 地域で活用するために : 151-172, 日本評論社, 2013. 8
 - ⑩ 高木大資 : 第 6 章 近隣のソーシャル・キャピタルと犯罪. イチロー・カワチ, 高尾総司, S. V. スブラマニアン編/近藤克則, 白井こころ, 近藤尚己監訳 : ソーシャル・キャピタルと健康政策 地域で活用するために : 174-205, 日本評論社, 2013. 8
 - ⑪ 相田潤, イチロー・カワチ, S. V. スブラマニアン, 近藤克則 : 第 7 章 災害とソーシャル・キャピタルと健康. イチロー・カワチ, 高尾総司, S. V. スブラマニアン編/近藤克則, 白井こころ, 近藤尚己監訳 : ソーシャル・キャピタルと健康政策 地域で活用するために : 207-233, 日本評論社, 2013. 8
 - ⑫ 村山洋史, 近藤克則, 藤原佳典 : 第 9 章 健康長寿をめざしたソーシャル・キャピタル介入. イチロー・カワチ, 高尾総司, S. V. スブラマニアン編/近藤克則, 白井こころ, 近藤尚己監訳 : ソーシャル・キャピタルと健康政策 地域で活用するために : 257-300, 日本評論社, 2013. 8
 - ⑬ 近藤尚己, 白井こころ : マイクロファイナンスと健康. イチロー・カワチ, 高尾総司, S. V. スブラマニアン編/近藤克則, 白井こころ, 近藤尚己監訳 : ソーシャル・キャピタルと健康政策 地域で活用するために : 301-346, 日本評論社, 2013. 8
 - ⑭ 稲葉陽二 : 第 13 章 ソーシャル・キャピタルの何が問題か. イチロー・カワチ, 高尾総司, S. V. スブラマニアン編/近藤克則, 白井こころ, 近藤尚己監訳 : ソーシャル・キャピタルと健康政策 地域で活用するために : 411-437, 日本評論社, 2013. 8
 - ⑮ 近藤克則 : データ・マネジメント・システムの概要と課題 (第 2 章-5). リハビリテーション白書 2013 年版 : 56-62, 日本リハビリテーション医学会監修, リハビリテーション医学白書委員会編集, 2013. 7 (総頁数 338 頁)
 - ⑯ 木村大介, 竹田徳則, 砂原伸行, 能登谷晶子 : 運営ボランティアとして介護予防事業に参加している地域在住高齢者の認知機能と社会活動の 2 年間の変化. 認知症ケア学会誌 12 (2) : 429-439, 2013. 7
 - ⑰ 大浦智子, 竹田徳則, 近藤克則, 木村大介, 今井あい子 : 「憩いのサロン」参加者の健康情報源と情報の授受 : サロンは情報の授受の場になっているか? 保健師ジャーナル 69 (9) : 712-719, 2013. 9
 - ⑱ 高橋俊彦 : 高齢者のホリスティックな健康構造の検証: AGES コホートデータを用いた健康格差のメカニズム. Health and Behavior Sciences 12 (1) : 21-30, 2013. 8
 - ⑲ 伊藤大介, 近藤克則 : 要支援・介護認定率とソーシャル・キャピタル指標としての地域組織への参加割合の関連—JAGES プロジェクトによる介護保険者単位の分析—. 社会福祉学 54 (2) : 56-69, 2013
 - ⑳ 鈴木佳代, 近藤克則 : 社会的決定要因から見た高齢期の健康増進 (地域を中心に). Geriatric Medicine (老年医学) 51 (9) : 913-916, 2013. 9
 - 21 伊藤美智予, 伊藤大介, 鈴木亮子 : 認知症ケアマネジメントにおける医療と介護の連携の現状と課題—医師からみたケアマネジャーとの連携への評価. 日本認知症ケア学会誌—印刷中—

<学会等>

- ① Katsunori Kondo, Toshiyuki Ojima, Naoki Kondo, Jun Aida, Kayo Suzuki, Hiroyuki Hikichi, Eisaku Okada : Development of the JAGES HEART (Health Equity Assessment and Response Tool). The International Conference on Social Stratification and Health 2013: Interdisciplinary Research and Action for Equity,

2013. 8. 31, Tokyo

- ② Masashige Saito, Katsunori Kondo, Naoki Kondo, Kayo Suzuki, Toshiyuki Ojima: Relative deprivation, poverty, and subjective health: JAGES cross-sectional study. The International Conference on Social Stratification and Health 2013: Interdisciplinary Research and Action for Equity, 2013. 9. 1, Tokyo
- ③ Hiroyuki Hikichi, Katsunori Kondo, Kayo Suzuki, Eisaku Okada, JAGES Project: Effect of participation on social support: Analysis of older people's panel data. The International Conference on Social Stratification and Health 2013: Interdisciplinary Research and Action for Equity, 2013. 9. 1, Tokyo
- ④ Masataka Nakagawa, Kayo Suzuki, Katsunori Kondo: Income Inequality, Social Capital, and Health Status among the Urban Elderly in Japan: A Multilevel Analysis. XXVII IUSSP International Population Conference, 2013. 8. 26-31, Busan
- ⑤ 伊藤美智予, 伊藤大介, 近藤克則: 認知症ケアにおける医療と介護の連携—「同一法人」か「別法人」かに基づく分析. 日本社会福祉学会第 61 回秋季大会, 2013. 9. 21-22, 札幌.
- ⑥ 伊藤大介, 近藤克則, 伊藤美智予: 介護者が介護により失った「機会」と認知症者の在宅生活継続との関連—ケアマネジャーが予測した在宅生活継続の可能性に基づく検討. 日本社会福祉学会第 61 回秋季大会, 2013. 9. 21-22, 札幌.

<その他>

- ① 近藤克則: 介護予防を推進するための地域診断に関する調査検討委員会委員 (公益社団法人全国国民健康保険診療施設協議会)
- ② <増刷されました>樋口京子, 篠田道子, 杉本浩章, 近藤克則 編著: 高齢者の終末期ケア ケアの質を高める 4 条件とケアマネジメント・ツール, 中央法規, 2013. 8. 1 (第 2 版 第 1 刷)
- ③ 研究班の成果が, 「第 4 7 回社会保障審議会介護保険部会」の資料中に紹介されました.
→ <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/0000020995.html>
→ http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000021717.pdf
- ④ WHO 神戸センターのウェブサイトで, JAGES2013 調査のことが紹介されました.
http://www.who.int/kobe_centre/ageing/j_ages_heart/en/index.html
http://www.who.int/kobe_centre/ageing/j_ages_heart/ja/index.html

<講演等>

- ① Katsunori Kondo: “Active aging community”: Creation of an evaluation system using ICT “visualization” and the concept of social determinants of health. 2013 Active Ageing Korea International Symposium “The future prospect about the policies and countermeasure to the rapid growth of old population around the world” Aug 29, 2013, Korea (KINTEX Grand Ballroom)
- ② 近藤克則: 健康格差と社会環境「見える化」—JAGES ベンチマーク・システム. 地域保健・医療・福祉活動研究会セミナー「健康情報の分析と活用」～地域リスクやニーズを「見える化」して、効果的な保健・福祉政策を推進する～. 2013. 7. 17, 岡山
- ③ 近藤克則: ソーシャルキャピタルと健康 - 影の側面はあるのか? 公衆衛生セミナー: 日本における健康の社会決定要因 -The Osaka Public Health Seminar: Social Determinants of Health in Japan. - 2013. 7. 27, 大阪大学
- ④ 近藤克則: (講演 1) 地域診断に基づく戦略的な地域づくりと介護予防の推進, (講演 2) 日常生活圏域ニーズ調査結果の分析とその活用. 平成 25 年度 第 1 回介護予防推進研修会「介護予防を目指した地域づくりの推進」2013. 8. 2, 島根県
- ⑤ 近藤克則: 地域診断に基づく戦略的な地域づくりとこれからの介護予防. 平成 25 年度介護予防従事者研修会「高齢者の居場所と出番をつくるこれからの介護予防～高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられ

- るように〜」2013.8.6, 富良野
- ⑥ 近藤克則：これからの介護予防～「見える化」システムの展開. 平成 25 年度介護予防従事者研修会「高齢者の居場所と出番をつくるこれからの介護予防～高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように〜」2013.8.7, 札幌
 - ⑦ 近藤克則：ソーシャルキャピタルと健康づくりー健康格差社会への処方箋. 平成 25 年度広島市保健師等職場研修会, 2013.8.27, 広島
 - ⑧ 近藤克則：チームアプローチにおけるチーム・リーダーの役割と課題. 日本福祉大学大学院公開講座「患者・家族が満足するチームアプローチのマネジメント方法論」2013.9.5, 佐久
 - ⑨ 近藤克則：基調講演「健康の社会的決定要因を考える」. 第 51 回健康管理研究協議会総会「健康管理のパラダイムシフト 発想の転換がカギ」2013.9.7, 東京工科大学

3 研究費採択のお知らせ

- ・公益財団法人 大幸財団 平成 25 年度第 2 回人文・社会科学系学術研究助成
研究代表者：齊藤雅茂
研究課題名：地域住民による独居高齢者への見守り活動の効果評価にむけた基礎的研究
共同研究者：斎藤民, 宮國康弘

4 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

- ・JAGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。
 - ・10月20日(日) 日本福祉大学名古屋キャンパス
 - ・11月23日(土) 東京大学本郷キャンパス
 - ・12月7日(土) 日本福祉大学名古屋キャンパス
 - ・12月8日(日) 国際シンポジウム 名古屋国際会議場(予定)
 - ・2014年1月5日(日) 東京大学本郷キャンパス

ニューズレター第31号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<k-manami@n-fukushi.ac.jp>(泉)までお知らせください(ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因ー社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)及び、「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」(2011年12月23日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012年1月8日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。